

# 総合科目「舞台芸術に触れる」平成20年度開講!



みなさんは、劇場に行って生の芝居やダンスを観ていますか?

1年間のうち、どのくらい?

本学では、多数の学生が語劇を通じて演劇にたずさわっています。語劇は、毎年  
の外語祭を支える大きな柱のひとつで、26ある専攻語の学生たちが自分の専攻する  
言語で劇を上演するものですが、それほどまでに演劇が身近であるはずの外語大で  
も、実際に劇場に足を運んで舞台上のパフォーマンスに触れている学生は多くない  
ようです。

そこで、「生きた言語修得のための26言語・語劇支援」(通称「語劇GP」)委  
員会では、もっと劇場に行って欲しい、生の舞台を観て欲しい、という観点から総  
合科目の授業を開講し、劇場のプロデューサーの協力を得て、教室での講義+実際  
の舞台鑑賞という内容で授業を構成します。



教員だけでなく、劇場のプロデューサーといった舞台芸術のプロ  
フェッショナルが登場して、舞台芸術の構成や演出の方法から、  
生で観る楽しみ・コツなど様々なことについて語る予定。

舞台鑑賞として学生向けの優待制度(詳細については講義で説  
明)を活用して、受講生各自(ここが大事)が観る演目を決め、  
自腹を切って(ここも大事)券を購入し、舞台を観ていただきま  
す。

これで興味がわいたら、シラバスも見てください。詳しいスケジュールに  
ついては、初回の授業

- 4月14日(月)5限(16:30~18:00) 101教室 -

でお知らせします。

もちろん、総合科目はすべての学生にひらかれています。1年生から4年  
生まで、語劇に関心があってもなくても、受講大歓迎です。

「舞台芸術に触れる」ということは、言葉・身体・空間把握・劇場という  
「場」に蓄積された文化・・・などなど、様々な問題について考えるとい  
うことでもあるのですから。

語劇支援室(研究講義棟6Fテラス室)